

嘘があってもいつも真実

奇麗な悪

Reveal



原作：中村文則

主演：瀧内公美

脚本・監督：奥山和由

製作：チームオクヤマ/よしもと総合ファンド/シー・アンド・アール/RON/ナカチカ プロデューサー：豊里泰宏 音楽：加藤万里奈 撮影監督：戸田義久 照明：中村晋平 録音：伊藤裕規
美術：部谷京子 編集：陳詩婷 音響効果：大塚智子 衣裳デザイン：ミハイルギニスアオヤマ ヘアメイク：董氷 劇中絵画「真実」後藤又兵衛
制作協力：シンクイ 制作プロダクション：チームオクヤマ 配給：NAKACHIKA PICTURES ©2024 チームオクヤマ

池澤春菜さん(声優作家)

見終わっても、音と言葉がわたしの中から消えない。埋み火のように、残り続ける。わたしたちはもう、被害者でも加害者でもなく、当事者だ。



春名風花さん(俳優声優)

”こちら側には”あちら側”が美しく見えてしまつらしい。嘘か真実か不明な言葉は同感を誘わず、私を劇中の”医師”のような感覚にさせた。世界に消費され、境界線を越えた”奇麗な悪”に燃やされ続ける76分。

石田月美さん(作家)

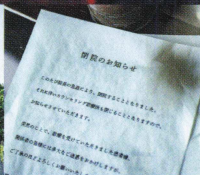
くだらない奴らに悩まされる者たちよ、この女の焼け焦げた語りを浴びろ。孤独な空間に放たれる言葉の数々が、日常を、当たり前を、正しさを、甘美に崩壊させる。ご立派で窒息しそうな日々、この映像体験は、確かな救いだ。

小橋めぐみさん(女優)

女の狂気が、強烈な癒しとなつて、私を解放してゆくようだった。味方が一人もいなくても、裏切られても、傷だらけになつても、何とかなる。この映画は、魂を救済する。

吉田玲さん(女優)

ひとりの女性が自分のことを話しているだけ、それなのにこんなに一気に引き込まれて最後まで入り込んでしまつなんて、本当にビックリ!! 言葉の力と迫真の演技力に心の奥底まで揺さぶりがまくられた初体験。そして口笛のメロディーは永遠に忘れられない。



2/21(金)より全国順次公開

ムビチケ前売券 (オンライン) ¥1,600 発売中

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館階B1F 1F:テアトルシネマグループ テアトル新宿 03 (3352) 1846 ttcg.jp

